**平戸市認知症初期集中支援チーム検討委員会　会議結果**

**１．日　時**：令和２年１月29日（水）午後6時30分　開会　午後８時　閉会

**２．場　所**：未来創造館　会議室Ｂ

**３．出席者**：委員７名出席

出　席：石田委員・立川委員・塚本委員・中桶委員・濵﨑委員・松本委員・大石委員

欠　席：２名欠席

　　　　福﨑委員・大浦委員

　　事務局：出席：尾﨑課長・藤井班長・栗山主査・江﨑技師補・福田認知症地域支援推進員

**４．次第**

　①開会

　②平戸市長寿介護課あいさつ　尾﨑課長

　③委嘱状の交付

　④委員及び事務局職員紹介

　⑤委員長・副委員長の選任

　⑥委員長あいさつ

**５．協議事項**

（１）平成30年度認知症初期集中支援チーム活動実績報告

|  |  |
| --- | --- |
| 事務局委員長○○委員事務局○○委員事務局○○委員事務局○○委員事務局○○委員 | 配布資料に基づき説明。只今事務局より説明がありましたが、その点につき何か質問等ないか。平成30年度は件数が４件、そのうちチーム員対応が２件、そして予備対応が２件で、チーム員対応の２件のみが終了し、あとの２件は終了していないと捉えてよいのか。チーム員予備対応件数の２件はチーム員会議の開催はしていないが、介護支援専門員の訪問やサービスの利用に繋げて様子を見ている状態と捉えてもらいたい。対象者把握から初回訪問までの日数、前回の時は最大37日で長く、今回は21日と短くなっているが、それでも3週間掛かっているのは長い。何か理由があるの。家族から相談があり、本人の様子を確認しに行きたいと家族と日程調整を行っていたが、日程が合わなかった。また、本人も認知症ということを受け入れられず、自宅訪問できなかった。初期集中支援チームの対応件数は年間で４件であるが、この数字が妥当かどうか。少ないと見たときに認知症の問題が地域にないのか、それとも拾い上げが上手く出来てないのかといったところを評価していく、考えていくべきところだと思う。拾い上げという所の対応はどうしているのか。相談には直ぐ対応している。調整に困難なく医療や介護に繋ぐことが出来ればこの件数に上がらず、対応が困難でチーム員として動き、専門医の相談を依頼したケースが、４件であった。○○委員が言われたように、全てが拾い上げ出来ているのか問われたら、相談しづらい、隠すというケースがまだまだあるためそうではないと思っている。民生委員協議会や地域の方たちに認知症について周知を行っていきたい。市役所に相談に来るというのは敷居が高く勇気がいると思う。今、認知症カフェを月に２回行っている中で、地域の方に連れてこられる方が２人いる。独居で近所や地域の方が困っているのは分かるが、介護保険サービスを利用しているのかまで、うまく繋がらないため、そういう場所に事務局の皆さんから出てきてもらいたい。報告書の中でも、認知症の疑いがある人と思って人数を書き、名簿もあるため、来てもらった時に聞いてもらうと、情報提供が出来る。こちらとしては毎回出向きたいと思っているが、日程が合わないときがある。その時に相談があれば情報提供していただきたい。外来で、認知症の疑いの人は少しずつ増加傾向にある。特に初期の方は月に２件程度の物忘れ外来相談もあっているので、病院等紹介してつなげてほしい。 |

（２）令和元年度認知症初期集中支援チーム活動途中経過報告

|  |  |
| --- | --- |
| 事務局委員長○○委員事務局○○委員事務局○○委員事務局○○委員事務局○○委員 事務局○○委員事務局○○委員○○委員事務局 | 配布資料に基づき説明。只今事務局より説明がありましたが、この件つきまして質問等ないか。 チーム員会議は１回で、その１件が15週間で終了。１回のチーム員会議で他科の病院につなげることができたということでよいか。はい。その通りです。相談経路について。初期集中支援チームで対応して欲しいという相談があったのか、何かの相談から包括の方でチームで対応すると判断したのか知りたい。初期集中支援チームで対応するようになった経緯を教えて頂きたい。３件とも相談に来られた時点では、初期集中支援チームで対応して欲しいということではなく、相談を受けている中で、対応困難なケースと包括で判断しチームで対応することになった。平戸市認知症初期集中支援チーム検討委員会実施要綱の訪問支援の対象となる者「対応に苦慮している者」ということでチームで対応したのなら、初期集中支援チームは個別対応ができるというところのPRを進めていけば、それで相談に来られる方も中には増えるかもしれない。必要な方はかなりいると思う。分かりました、周知の仕方等検討していきたい。今回は３件の相談があっている。介入時に介護サービスを受けていない方が２件。介入後から介護サービスの変更はあってないのか。２件の人たちは継続で進んでいると風に考えていいのか。まだ終了ではなく継続している状況。令和元年度も平成30年度も件数が少ないので一概には言えないが、独居の方の相談が多い。平戸市も今後、高齢化が進むと予測され、独居の方すべてを把握するということは難しいと思う。そのため、ブロックごとに注意を要する方がいると把握したほうがいいのではないか。地域で支えていくためにも事前把握できた方が、早期介入もしやすいと思う。地域での生活が継続できるように何か取組があった方がいい。情報共有という点ではケースごとに、警察や地域の関係者の方と行っている。また、民生委員や区長の方は地域の方のことをよく把握していると思うので、民生委員の連絡協議会等に参加し、認知症をはじめ、その他の政策についても紹介をさせていただき連携を深めたいと思っている。対応に苦慮されている方の支援で、介護サービスや医療機関に結びついていない。まだ支援継続中ということではあると思うが、認知症初期集中支援チームは必要な機関に結びつけることが目的だと思うのでしっかりと繋げていただきたい。まだ支援中でもありますが、介護サービス等の必要な機関に繋げていきたいと思います。平戸市の認知症の人数と状況等は出し、医療・介護・福祉が同じ人の情報を共有することで誰が受診に来ているのかを把握することを目指しますなど何か目標とするものがあった方がいいと思う。その目標があれば、地域住民の方からの相談も増え、早期対応に繋がるのではないか。 私も○○委員が言われたように目標はあった方がいいと思う。目標があると関わってきた人がその目標に向かって動きやすくなると思う。目標だけでなく、認知症初期集中支援チームの周知をしていきたいと思う。 |

（３）認知症施策について

|  |  |
| --- | --- |
| 事務局○○委員事務局○○委員○○委員○○委員事務局○○委員事務局 | 配布資料に基づき説明。認知症サポーター養成講座は主に私がしていますが、１年間を通した計画を立てた方がいいと思う。また、認知症サポーター養成講座の時にＱＲコードについても話をするが、ほとんどの方が知らないので周知をした方がいい。記事を掲載するだけでなく、言葉に発していってほしい。認知症カフェに関してはその仕組みを明確にした方がいい。実施している地域の方が増えていかないのはやり方に工夫が必要な気がする。認知症のサポーターの養成に付きましては、知識を深めていただきたい年齢層、対象を定めて計画的にやっていきたいと思う。ＱＲコードも周知不足だと感じており、福祉健康まつりで実際に体験してもらった。こちらから情報発信を行っていきたいと思う。認知症カフェで、学生との交流とはどういった学生との交流で、参加者の反応はどうだったのか。７月は○○小学校が夏休みに入り、小学生が４名ほど。○○大学生も10名近く先生と一緒に参加して頂いた。反応としてはすごく評価をもらい、参加者の方は笑顔になっていた。ＱＲコードの見守りの件で、別の市で模擬訓練をされていたので、参考までに情報提供をさせていただきたい。民生委員の中から２人選出し、ＱＲコードをどこかに張り付け、定められたエリア内をうろついてもらう。参加者の方に、読み取って貰って、メールがちゃんと届くか確認をされていた。球面やカーブがある靴の踵だと読み取れ無かったり、お店の協力店の方も、模擬訓練ではあるけど、携帯を向けてカシャと撮るのにためらいがある等の課題もあったとのことでした。私は○○市から情報をお聞きし、すごくいい取り組みをされていると思っていたところで、本市でも検討したいと思っている。実際に登録されている圏域はわかっているので、その圏域でやってみるのもいいかと思っている。何かの時は皆さんにご協力頂きたい。認知症ケアパスについて、出前講座や窓口対応時の配布しているとのことだが、年度を通してどのくらい配布出来ているのか。平戸市が目指す認知症ケアっていう所の流れというのがケアパスにはあると思うが把握ができていているのか。内容も少し変更したほうがいい部分もあると思う。認知症ケアパスは配布状況の把握までは取っておらず、数としては報告が出来ない所ではある。また、○○委員が言われたように内容を更新しないといけないので、令和２年で更新し、分かりやすいように表現をしていきたいと思う。 |

**５．その他**

（１）成年後見制度利用促進体制整備について

|  |  |
| --- | --- |
| ○○委員○○委員 | 後見に関しては、後見を進めるには市長申立てをハードルを下げるしかないと思っている。申立ての出来る人は決まっており、後見申立てがしにくい環境となっているので、ある程度、市長申立てのハードルを下げていく必要があると思う。私も病院のケースで１件あり、平戸市にご相談したが、なかなか進まなかった。これを見ると、中間機関を作り、そこに委託することである程度迅速に動くことができるのかと思うと作って頂ければ助かるので前向きに検討して頂きたい。他市の状況とか調べてもらえれば。先進的にしているところとか。県内にもありますので、調べてもらえればと思います。 |

（２）会議開催状況の市ホームページへの掲載について

|  |  |
| --- | --- |
| 事務局委員全員 | これまでと同様に協議内容を、市のホームページに掲載してもよいか。（了承される。） |

（３）次回会議開催時期について

|  |  |
| --- | --- |
| 事務局 | 令和２年度では開催時期を夏頃と説明する。 |